

令和 7 年度 事業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

学校法人松山ビジネスカレッジ



1. 法人の概要

(1) 建学の精神

学校法人松山ビジネスカレッジの歴史は、昭和 21 年に洋裁に関する知識や技術を修得した洋裁師を養成するために設立された松山洋裁女学院にさかのぼる。

昭和 41 年 12 月、学校法人山本学園設立。昭和 51 年以降、松山女学院ドレスメーカー専門学校、松山デザイン専門学校、松山歯科衛生士専門学校を開校するなど、時代の変遷とともに移り変わる社会的な要請に基づき、新たな分野の学校を開校し、職業と密接に関連した専門教育を実践してきた。

平成 25 年 4 月、学校法人山本学園から学校法人松山ビジネスカレッジへ法人名を変更。平成 26 年 4 月、学生が横断的にカリキュラムを選択することが可能で、フレキシブルに学ぶことができる学校を目指し、学校および学科の統廃合を含めた大幅な見直しを行ったことなどから、現在の 2 校 4 学科体制に至っている。

令和 2 年 10 月には、学校法人松山ビジネスカレッジと学校法人河原学園は「アライアンスパートナー契約」を締結し、お互いの強みや得意分野を活かして地域における教育の質をより向上させ、社会で活躍できる人材を育成していく体制を構築した。

「豊かな教養と高度な専門性を持った人材育成」、「学生が主体的に学ぶ授業」、「対話を重視した教育」、「地域との調和と共存」の 4 つの教育理念のもと、「きびしく、やさしく、ていねいに」を教育方針として、79 年の歴史と伝統を継承しつつ、実践的かつ実務的な授業を行ってきた結果、卒業生は総数 15,000 人を超え、地元愛媛はもちろん日本国内だけでなく海外においても、プロとして幅広い分野で活躍している。

今後についても、学校法人松山ビジネスカレッジは、現代社会において必要とされる学科・専攻・カリキュラムを備えた専門学校づくりに全力で取り組み、豊かな人格とプロとしての専門知識・技能を持った人材を育成していくことで、微力ながら地域の発展に貢献していきたいと考えている。

(2) 学校法人の沿革

昭和 21 年 3 月	松山洋裁女学院を松山市花園町に設立
昭和 23 年 4 月	松山洋裁女学院 設置認可
昭和 32 年 10 月	杉野学園ドレスメーカー女学院の指定校となる
昭和 41 年 12 月	松山技芸専門学校を吸収合併
昭和 41 年 12 月	学校法人山本学園設立
昭和 43 年 3 月	松山市一番町に校舎落成
昭和 46 年 7 月	各種学校松山技芸専門女学院 閉校
昭和 49 年 10 月	各種学校松山デザインスクール 開校
昭和 51 年 4 月	松山女学院ドレスメーカー専門学校、松山デザイン専門学校 開校
昭和 55 年 4 月	松山歯科衛生士専門学校 開校
昭和 61 年 4 月	松山コンピュータ専門学校 開校
昭和 62 年 3 月	準学校法人相原学園を吸収合併
昭和 62 年 4 月	松山情報ビジネス専門学校 開校 (松山タイピスト専門学校を変更)
平成 3 年 3 月	松山市辻町に校舎落成
	松山コンピュータ専門学校、松山デザイン専門学校を移転

- 43 平成7年4月 松山医療福祉専門学校 開校
- 44 平成14年9月 松山市竹原に校舎落成（松山医療福祉専門学校を移転）
- 45 平成21年7月 一番町校舎全面リニューアル完成
- 46 平成22年3月 松山医療福祉専門学校 閉校
- 47 平成25年4月 学校法人山本学園から学校法人松山ビジネスカレッジへ法人名変更
- 48 平成26年3月 松山デザイン専門学校、松山情報ビジネス専門学校を統合のため閉校
- 49 平成26年4月 松山女学院専門学校から専門学校松山ビジネスカレッジ クリエイティブ校へ校名変更（女学院とデザインの統合）
- 50
- 51 松山コンピュータ専門学校から専門学校松山ビジネスカレッジ ビジネス校へ校名変更（コンピュータと情報ビジネスの統合）
- 52
- 53 平成29年4月 松山歯科衛生士専門学校を辻町校舎へ移転
- 54 令和2年10月 学校法人河原学園とアライアンスパートナー契約を締結
- 55 令和4年4月 専門学校松山ビジネスカレッジクリエイティブ校から松山デザイナー専門学校へ校名変更（ファッションビューティ学科をファッションクリエイター学科（3年制）、ファッションビジネス学科（2年制）へ学科編成を変更、総合デザイン学科を Web クリエイター学科へ変更）し辻町校舎へ移転
- 56
- 57
- 58
- 59
- 60

61 (3) 設置する学校・学科・専攻等

設置する学校	開校年月	学科・専攻等
松山デザイナー専門学校 (松山市辻町1-33)	昭和51年4月	ファッションクリエイター学科 ファッションクリエイターコース ファッションデザイナーコース パタンナーコース ファッションビジネス学科 ショップマスターコース スタイリストコース Webクリエイター学科 Webクリエイターコース
松山歯科衛生士専門学校 (松山市辻町1-33)	昭和55年4月	歯科衛生学科

62

63

64 (4) 学校・学科の学生数の状況

65 令和7年5月1日現在 (単位:人)

学校名		入学定員数	収容定員数	現員数
松山デザイナー 専門学校	ファッションクリエイター学科 ファッションビジネス学科 Webクリエイター学科	45	145	74
松山歯科衛生士 専門学校	歯科衛生学科	40	120	125

66

67

68 (5) 役員の概要

69 令和8年3月31日現在

70 定員数 理事6名 監事2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	河原成紀	非常勤	令和2年10月理事・理事長就任
常務理事	松岡由紀子	非常勤	令和2年10月理事・常務理事就任
理事	河原次瞭	非常勤	令和2年10月理事就任
理事	芦田宏直	非常勤	令和2年10月理事就任
理事	室利幸	非常勤	令和3年4月理事就任
理事	芦澤昌彦	非常勤	令和7年5月理事就任
監事	宮部高至	非常勤	平成24年12月監事就任
監事	山本秀人	非常勤	令和2年10月監事就任

71

72 (6) 評議員の概要

73 令和8年3月31日現在

74 定員数 7名

氏名	主な現職等
佐山浩二	学校法人河原学園
石崎学	学校法人河原学園
露口武志	学校法人河原学園
中村亮	学校法人河原学園
清水綾	学校法人松山ビジネスカレッジ
大野幸美	学校法人松山ビジネスカレッジ
高橋良昌	学校法人松山ビジネスカレッジ

75

76 (7) 教職員の概要

77 令和7年5月1日現在

(単位：名)

区分	本部	松山デザイナー 専門学校	歯科衛生士校	計
教員	本務	7	4	11
	兼務	30	43	73
職員	本務	11	2	15
	兼務			

78

79 (8) 施設等の状況

所在地	施設等	面積等	摘要
愛媛県松山市一番町 (一番町校舎)	校地	725.27 m ²	河原学園等と賃貸借契約を締結し、本部(総務部)が一部を倉庫として使用
	校舎	232.64 m ²	
	校地(駐輪場)	130.24 m ²	
愛媛県松山市辻町 (辻町校舎)	校地	1,090.90 m ²	松山デザイナー専門学校と松山歯科衛生士専門学校と本部が使用
	校舎	2,338.81 m ²	

80

81 2. 事業の概要

82 (1) 事業の概要

83 令和7年度は、創立79年の歴史と伝統を基礎とし、「豊かな教養と高度な専門性を持った
84 人材育成」「学生が主体的に学ぶ授業」「対話を重視した教育」「地域との調和と共存」の教育
85 理念のもと、面倒見のよい教育を徹底し、自立した職業人材を育成する地域になくはならな
86 い専門学校を目指して活動を行った。また、創立80周年の節目の年に向けてイベントを計画
87 し、広報面の強化に努めた。

88 令和4年4月に開校した「松山デザイナー専門学校」では業界最前線で活躍する実践的な
89 指導を強化し、ファッション業界やWeb業界で活躍するクリエイターの育成を推進し専門職
90 への就職率100%の達成を目指した。「松山歯科衛生士専門学校」では、新カリキュラムの定
91 着を図り、国家試験合格率100%、医療事務技能審査試験合格率100%、介護職員初任者研修
92 修了率100%を目指した。また、一番町校舎活用による収益事業において法人の経営基盤を安
93 定させ、教育環境の整備・充実や教職員の処遇改善に努めた。

94

95 (2) 主な事業の目的・計画およびその進捗状況

96 ① 広報活動

97 松山デザイナー専門学校については、「ファッションクリエイター学科(3年制)」、「ファ
98 ッションビジネス学科(2年制)」、「Webクリエイター学科(2年制)」の3学科の県内外で
99 の認知度向上を最優先課題とした。パンフレットの配布や分かりやすいホームページの作成
100 に加え、Webサイト・デジタル広告・SNSを連動させた広報活動を展開した。また、産官
101 学連携事業の推進に合わせてニュースリリース等を発信し、パブリシティ(広告費を伴わな
102 い報道・記事露出)を獲得し、認知度の拡大を図った。松山歯科衛生士専門学校「歯科衛生
103 学科(3年制)」については、ターゲット校や進学校からもさらに志願倍率が向上するよう
104 に高校教員や高校生・保護者等に対する広報活動を一層強化した。

105 こうした活動の結果、令和8年度入学者の募集実績は、ファッションクリエイター学科
106 16名、ファッションビジネス学科18名、Webクリエイター学科23名、歯科衛生学科42
107 名となり、2校4学科合計で99名、前年比17名の増加となった。

108

109 ② 教育活動

110 【松山デザイナー専門学校】

111 「ファッションクリエイター学科(3年制)」、「ファッションビジネス学科(2年制)」、
112 「Webクリエイター学科(2年制)」の3学科において、充実したカリキュラムにより基礎
113 から専門、実践まで圧倒的な実習時間で技術を修得し、プロフェッショナルを育成できるよ
114 うカリキュラムの運営管理に取り組み、コンテストやコンペ、学園祭、松山コレクション等
115 アウトプットの機会を増やし技術力・表現力を高める活動を行った。また、産学連携授業の
116 充実として、「一粒萬倍」の舞台衣装制作や韓国・東京研修で現場を体験できる機会を設け、
117 授業に活用した。また、愛媛県や愛媛警察本部等の依頼によりポスターやチラシの作成を積
118 極的に行い学生のスキル向上に努めた。

119 学生一人ひとりの個性を生かしつつ、知識・技術の向上、社会で必要とされる実践能力の
120 習得、資格取得および関連企業就職率100%の達成に向けて、出席率・小テスト・宿題の実
121 施状況・各種検定結果・学生の知識や技術レベル等を教職員間で共有し、きめ細かな指導を
122 徹底した。

123 令和6年9月、ソウルファッション職業専門学校と人的・物的資源の交流を通じて相互
124 発展を目的としたMOU協定を締結したことに加え、創立80周年に向けて清州大学との
125 MOU協定締結を計画している。

126

127 【松山歯科衛生士専門学校】

128 国家試験合格に向けた基礎教育をさらに発展させ、社会人・医療人として必要な思考力を
129 養う教育を実践した。思考力は看護など他の医療分野でも重視されており、チーム医療の実
130 践が求められる近年、それに関わる歯科衛生士にも必要不可欠な能力である。また、近年の
131 歯科衛生士国家試験では、知識の応用や思考力が問われる問題が増えており、中期目標の達
132 成に不可欠な要素であることから、今年度から重点的に取り組んだ。

133

134

135 ③就職支援

136 企業の採用活動が早期化していることに対応し、入学時からキャリア面談を行い、早期段
137 階から就職に対する意識を高めた。また、学科で学んだ知識や技術を活かせる企業へのイン
138 ターンシップの斡旋や、業界・業種理解を深める講義を実施した。

139

140

以上